① 最大の謎は、人間

あの人は、どうしてあんなことをしたのだろう、言ったのだろう？

それを、物語の主軸に置くことこそ、
『ミステリーの手法で書いてみよう』ということ。

恋愛ものでも、友情ものでも、家族ものでも、歴史・時代ものでも、
SFでも、まったく同じ。
どのジャンルの作品にも、有効な作劇方法である——

★ そもそも、ミステリーとは何か？

『本格推理』や『社会派推理』『サスペンスもの』『警察もの』『ハードボイルド』などなど、そのジャンル（あくまで、宮下による分類）を解説。

★ では、こうしたミステリーに共通する、最大の特長とは何か？

それは、
『謎を提示して、解決する』
作品だということ。
つまり、 ↓
『その解決＝結末があらかじめ決まっている』
作品であり、ミステリーとは、
↓
そうした
『結末に向けて書かれる、ほとんど唯一の創作物』
である。
↓
逆に言えば、
『ミステリーとは、結末から考えて作られている』
とも言える。

★ そして、これこそが、ミステリー以外の作品にも有効利用できる手法である。

★ では、その手法とは？ 必要なこと、すべきことは何か？

それこそが、
『伏線』と『回収』
である——